

世界をリードする力

国際社会における次世代のリーダーには、語学力はもちろん、コミュニケーション能力、国際感覚、論理的思考力、討論力、自律性などが求められます。慶應義塾大学理工学部には、単に語学を学ぶだけでなく、発表や討論、実地研修などを通して、多様な価値観や文化を理解するプログラムが多く用意されています。

英語での討論や発表が語学力を向上させ、
論理的思考力や表現意欲を高める。



留学などによって国際性を養い、
広い視野を身につけていきたい

幅広い分野の高レベルな授業を受けられるだけでなく、海外留学などの機会も豊富にあることに魅力を感じ、私は慶應の理工学部に入學しました。

入學後に受講した授業の中で、特に印象に残っているのがGLS(グローバルリーダーシップセミナー)です。高校時代は英語に苦手意識があったのですが、大学では新しいことに挑戦したかったので思い切って履修しました。様々な分野の先生方から講義を聞き、その内容について英語でディスカッションするGLSの授業によって、自分が成長できたと実感しています。英語での会話に抵抗感がなくなるとともに、自分の意見を伝える力も身につけ、一緒に学んだ友人たちからも多くの刺激を受けました。

そして、韓国の高麗大学の学生と行ったGLSの夏の実地研修は、最新のテクノロジーを活用した商品を企画するというもの。私たちのグループは、病気の患者さんがフェイクニュースに惑わされずに正しい情報を得たり、病院や医師と連携したりできるAIを活用したアプリをプレゼンテーションし、最優秀を受賞しました。この経験は本当に良い思い出になり、高麗大学のメンバーとは今でも連絡を取り合っています。

今後については、ダブルディグリープログラムなどを利用してフランスの大学で学びたいと思っています。また、大学院にも進学し、創業に関する研究をしたいという目標もあります。

最終的には、小学生の頃からの夢である教員になりたいです。ただし、教員である前に、ひとりの人間として良き社会人でありたいというのが私の考え。グローバルな経験を積みながら多くのことを学び、広い視野と国際性を備えた人間を目指します。

学門E入学1年
東京都出身

外国語教育 (英語・諸外国語)

学部1・2・3・4年

英語科目ではアカデミックな英語運用能力の習得を通じて、論理的・批判的思考力を養います。習熟度別にクラス分けされた第1・第2学年の必修英語に加えて、選択英語(総合教育科目)で「リーディング」「ライティング」「スピーキング」「リスニング」といった技能別授業を学部4年間にわたり履修できます。諸外国語は、第1学年でドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語のうち一つを選択して必修科目として学びます。これらの外国語も、目的別・レベル別のクラス(総合教育科目)で、学部4年間にわたって学ぶことができます。



グローバルリーダーシップ セミナー(GLS)

学部1・2年

次世代のリーダーとして活躍するために、国際感覚、論理的思考力、討論力、言語力、自律性の大切さを肌で感じ、体得するプログラムです。英語そのものを学ぶのではなく、英語を使って様々なテーマについて発表したり議論したりします。参加学生の多様な価値観や異国の文化を理解することで、世界でリーダーシップをとれるような国際感覚を養います。長期休暇中には、関連科目として「グローバルリーダーシップセミナー実地研修」を実施しています。



留学プログラム

学部1・2・3・4年 大学院

気軽に参加できる短期の語学研修から派遣交換留学まで、世界約140校の協定校に留学できる、多彩なプログラムが用意されています。理工系学生に特化したプログラムも多く、外国語を使って理工学を学ぶことができます。また、4学期制の中の春学期後半を利用して、海外サマースクールなどに参加できる学科もあり、単位を取得できた場合は慶應義塾の単位として認定される可能性があります。現地の文化に触れ、世界中から集まった学生と意見を交わすことで、国際感覚が磨かれます。



ダブルディグリー プログラム

学部3・4年 大学院

慶應義塾と協定校の合意のもとで準備された一連のカリキュラムを修了すると、両校から同時に修士の学位が取得できる制度です。「学部生向け大学院一貫プログラム」と「修士課程学生向けプログラム」があり、フランスのエコール・サントラルやその他ヨーロッパ諸国の有力大学院で提供される正規カリキュラムを学びます。専門分野の学習と異文化圏への理解が深まる、高度なプログラムです。

